



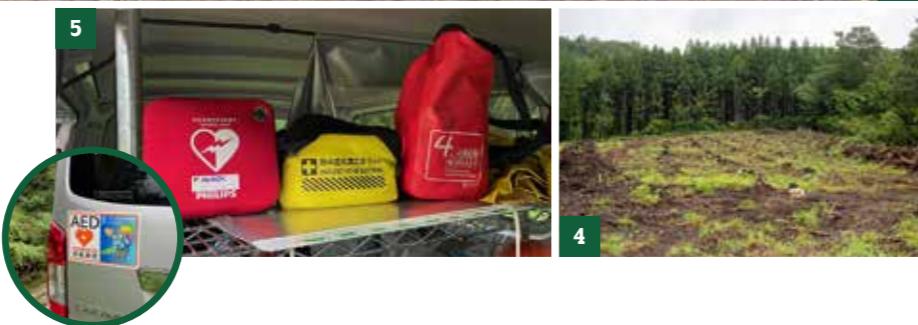
緑の担い手を
目指そう!

有限会社 阿部林業工務店



1

2



③④岩船郡関川村の松平の3.8ヘクタールの「地拵え（じごしらえ）」現場。伐採後に残った枝や根っこ、刈った草などを片付けて植栽しやすいように整える。グラップルを操作しているのは安倍さん ⑤阿部功代表取締役の発案で現場の車1台にAEDを搭載。地域住民にも活用を促しており、社会的責任(CSR)活動とともに「地域の人たちに林業をもっと理解してほしい」という思いが込められている

緑の担い手 ~大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち~

勝山太郎さん

KATSUYAMA TARO
年齢:36歳 林業経験:2年2ヶ月

チームで味わう達成感

大自然を相手にチームで立ち向かっていく林業は、強いスポーツチームみたいだと感じます。「この現場、最強だったね!」と、みんなで一つの現場をやり遂げたときの達成感が本当に大きい。それを現場ごとに味わえるのが、また楽しい。筋肉痛は辛いけれど精神的なストレスは全くありません。数年前まで存在も知らなかった林業の世界が、今はとても楽しくて、早く仕事を覚えたいと思っています。




「社会の変化に合わせて林業のやり方をえていかないと」と阿部林業工務店3代目で代表取締役の阿部功さん。現在は再造林を推進する皆伐をメインに、山の中のインフラ整備や素材生産など、豊富なフィールドで幅広い業務を行っている。

阿部さんいわく、『未来の人のための仕事』である林業を続けていくため若手森林技術員の確保は必須だ。体が資本の仕事であることから、先進的な働く環境づくりに取り組んでいる。夏場は朝5時から正午までのサマータイム制を導入し、安全装備の着用も徹底。また、給与面でも建

設業並みを目指し、資格取得や現場管理には手当を設けている。入社が決まった社員には、大谷翔平選手が愛用していることで知られるマットレスを贈るという。

山の仕事を外部からは見えにくい。1台の現場用車両にAEDを搭載し、災害時のパトロールに協力するなど、地域の人たちにも活用してもらうことを林業への理解を深めていきたいと考えた。阿部さんは「林業に興味を持った人は気軽に遊びに来てほしい」と呼び掛ける。こちらの現場に触ることで、若い世代にも林業の可能性を実感してもらえるはずだ。

豊富なフィールドを強みに変化していく林業に対応する

❶左から森林作業員の安倍直人さん(34歳)、阿部竜一さん(39歳)、勝山太郎さん(36歳)。安倍さんは5年前に東京から村上市に移住し、阿部さんは入社18年目となる先輩。技術力があり、楽しみながら仕事をする先輩たちは勝山さんの目指す姿になっている ❷伐倒した木を集積するためにチェーンソーで玉切りする勝山さん。「林業の仕事はどの作業も好きです。失敗したらへこみますが、その分、次はどうしたらよいかと考え、挑戦していくことも楽しい」

住所 ● 村上市松沢143
電話 ● 0254-66-6440
設立 ● 1965年
資本金 ● 500万円
従業員数 ● 9人(森林作業員7人)
勤務時間 ● 8:00~17:00
(夏期間5:00~12:00)
主な勤務地 ● 村上市周辺ほか
主な從事業務内容 ● 森林整備、管理伐採ほか